

平成21(2009)年6月29日

これからの中野の教育検討会議資料

これからの中野の教育検討会議について

教育委員会では、平成17年6月「中野区教育ビジョン」を策定し、その重点的な取り組みを定めた「教育ビジョン実行プログラム」に基づき、教育行政を推進するとともに、子どもたちにより良い教育環境を確保するため、「中野区立小中学校再編計画」(平成17年10月)により、区立小中学校の統合を確実に進めてきている。

しかし近年、教育をめぐる状況の中で、学力についての課題が注目されるようになってきている。国全体が今日の国民の暮らしのレベルを維持するため、また、将来に向かって職業選択をしていく若い人々が幅広い選択肢を持てるようにするためにも、国や地域をあげて、高い付加価値を生み出せる人材を育てる学力向上策を戦略的に展開していくことが求められている。

学力向上という観点からすすめる新学習指導要領への対応や、人格形成や学力も含めた生きる力の基礎となる体力の向上、さらに発展的な学習にも対応できる連携教育のあり方、家庭と子どもたちの育ちを幅広く支え、学校教育活動の充実を支援するための地域と学校・行政の連携のあり方、誰もが誇りを持ち地域の中で学べる特別支援教育のあり方等、教育をめぐる課題について、中長期の展望と理念的な機軸を確立して、中野が目指すこれからの教育の方向を明らかにする必要がある。

このような状況から、学齢期を終えた子どもたちの人間像を描いたうえで、中野が目指すこれからの教育の方向を明らかにするとともに、連携教育や地域と学校との連携については、特に早期に取り組むべき課題との認識に基づき、「これからの中野の教育検討会議」(以下「検討会議」という。)を設置し、今後の中野の教育指針の検討を行うこととした。

【検討事項】

◇ 将来を見据えた中野の子どもたちの学力観

(1) 中野区における連携教育について

- ・連携教育の具体的なあり方
- ・保・幼・小や中・高などの幅広い連携教育

(2) 学校と地域との連携について

- ・通学区域と地域(町会、青少年育成団体等)との関係
- ・「地域運営学校」「学校支援地域本部」等の設置、地域の人材活用

(3) 特別支援教育の拡充について

- ・特別支援学級の区全体としての配置
- ・就学前から職業訓練、自立にいたる一貫した支援

(4) その他